（様式）

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報

|  |  |
| --- | --- |
| 議題 | 新公会計制度アドバイザリー会議 |
| 日時 | 令和2年8月25日(火)　13時27分～15時41分 |
| 場所 | 府庁本館４階　会計検査室 |
| 出席者 | (特別顧問・特別参与)：武田特別参与　谷口特別参与(職員等)：会計管理者兼会計局長 会計指導課長、課長補佐他　会計指導課職員等 |
| 論点 | ・令和元年度財務諸表について・その他 |
| 主な意見 | 資料１について・注記（各会計合算財務諸表）の「２．重要な後発事象」について、大阪府と大阪市の港湾局を統合した「大阪港湾局」設置の記載があるが、設置については令和元年度中に決定しており、財務に大きな影響を与えるものではないので、「４．追加情報」の「（５）その他財務諸表の内容を理解するために必要と認められる事項」に記載してはどうか。資料２について・貸借対照表の資産の部の内訳に、資産増の主な要因である、現金預金・基金も記載してはどうか。資料３について・1ページ「Ⅰ．令和元年度の財務諸表のポイント」の【貸借対照表の状況】について、総資産が＋584億円とかなりの増となっているため、資産の増加要因（現金預金・基金など）についても記載してはどうか。・6ページ「Ⅳ．収入と費用について」の行政収支の部で、行政収入のプラス要因のみではなく、マイナス要因で減少額の大きいものも記載してはどうか。また、昨年度までは行政収支差額の記載がなかったが、金融収支や特別収支の部では収支差額についての記載があるので、行政収支差額についても記載してはどうか。 |
| 結論 | 資料１について・注記（各会計合算財務諸表）の「２．重要な後発事象」について、大阪府と大阪市の港湾局を統合した「大阪港湾局」設置の記載を、「４．追加情報」の「（５）その他財務諸表の内容を理解するために必要と認められる事項」に記載する。資料２について・貸借対照表の資産の部の内訳に、現金預金・基金（流動）の合計金額を記載する。資料３について・１ページ「Ⅰ．令和元年度の財務諸表のポイント」の【貸借対照表の状況】に、資産の増加要因（現金預金・基金）を記載する。・６ページ「Ⅳ．収入と費用について」の行政収支の部に、行政収入のマイナス要因で減少額の大きいもの（国民健康保険関係交付金・事業収入（特別会計））も記載する。また、行政収支差額を記載する。 |
| 説明等資料 | ・議事次第・【資料１】令和元年度財務諸表（各会計合算）・【資料２】令和元年度大阪府新公会計制度財務諸表の概要・【資料３】令和元年度大阪府新公会計制度財務諸表についてなお、これらの資料については、令和2年８月２5日現在であり、会議での指摘等による修正があります。最終の財務諸表等については、下記の資料を確認ください。※最終の財務諸表についてはこちら（リンク）<http://www.pref.osaka.lg.jp/kaikei/newzaimusyohyou/index.html> |
| 関係部局（室課） |  |